

2020年12月24日

国立大学図書館協会各会員館長
公立大学協会図書館協議会各会員館長 殿
私立大学図書館協会各会員館長

国公立大学図書館協力委員会委員長
慶應義塾大学メディアセンター所長
須田 伸一 [公印省略]

2020年度大学図書館シンポジウムの開催について（ご案内）

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、国公立大学図書館協力委員会・国立大学図書館協会東京地区・日本図書館協会大学図書館部会主催による標記シンポジウムを下記のとおり開催いたします。

つきましては貴図書館において関係者にご周知いただき、参加についてご配慮賜りますようお願いいたします。

記

テーマ：オンライン授業における図書館の役割

開催趣旨：

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年度春学期は、多くの大学がオンライン授業への切り替えを余儀なくされました。図書館も休館や制限下での運用を強いられ、「紙資料の貸出」や「場の提供」という基本機能の提供が難しい状況に陥りました。秋学期は多くの大学で対面授業が再開されましたが、オンライン授業との「ハイブリッド」が主流となり、ポストコロナ時代の新たな大学教育の在り方の模索が求められており、図書館においても、サービス基盤のバーチャルへの突然の転換によって浮き彫りになった問題や課題に日々直面しています。

昨年度まで図書館総合展において開催してきた大学図書館シンポジウムは、今年度、国公立大学図書館協力委員会、国立大学図書館協会東京地区、日本図書館協会大学図書館部会の共催による開催となります。オンライン授業に関わる教員・職員・関係団体それぞれからの講演・報告を通じて、「大学図書館は今、何ができるのか」、「このような状況下でもより良いサービスを提供し続けるために、必要なことは何か」を思案する一助となれば幸いです。

日時：2021年1月22日（金）13：00～16：30

参加方法：Zoom ウェビナーによるオンライン配信

国公立大学図書館協力委員会の Web サイトよりお申込みください。

https://julib.jp/sympo_event/symposium_2020

定員：先着 500 名

参加費：無料

お問合せ：国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会
mc-sympo2020-group@keio.jp

以上